

# 生活支援体制 整備事業だより

R4 第3号 令和4年9月発行

遠賀町社会福祉協議会

☎293-0430

(担当 三根・矢野・曾川・安増)

## 第3回島門校区協議体 (9/20)

早期発見につながる工夫を。**連絡体制の創造**とその活用。

### 【参加者】

島津	梅谷小夜美さん	福祉ネットワーク推進委員
若松	舩添まち子さん	福祉ネットワーク推進委員
鬼津	三原富子さん	民生委員
田園北	堀田敏明さん	区長
田園南	篠塚重信さん	公民館長
別府	鶴井壽身さん	区長
今古賀	加藤秀邦さん	区長



今回、地域での高齢者の見守りについて話し合ったところ、上記のように認知症高齢者の徘徊が出た時、早期発見をするためには校区で連絡、連携協力体制ができたらいねといった意見と、もっとご家族が認知症について理解を深め、地域のみならず認知症に関する理解を深めることでより良い関係性ができるのではないかと。そのためには、地区には民生委員が包括支援センターや在宅介護支援センターに繋ぐ、町には徘徊SOSネットワーク事業や県の防災メールなど、支え合いの仕組みがあることを、ご近所さんがいざという時つよい支援者であること、ご家族にも知ってもらいたい、そのための啓発活動が必要なのではないかとご意見がありました。

## 第3回広渡校区協議体 (9/24)

認知症のご家族からの貴重な**体験談**を語っていただきたい。



### 【参加者】

大内田悦雄さん	(遠賀川区長)
森田正人さん	(中央区福祉ネットワーク推進委員)
鈴木文代さん	(旧停区民生委員)
嶋立道子さん	(松の本区民生委員)
藤岡ひとみさん	(新町区民生委員)
大場正志さん	(広渡区民生委員)

行政区できめ細やかな活動がされていて、校区の活動がその手助けになればといった視点で会議を進めることに、参加者全員ご理解をいただき、皆さん積極的に話をしてくださいました。そして、一般の人にも、認知症のご家族にも、もっと認知症についての理解を呼びかけ、皆が、認知症について、ポジティブな考え方ができるようになるといいね。そのために、貴重な体験談などを伝える機会として研修会を開催することに向けて話し合うことになりました。

# 第4回浅木校区協議体 (9/3)

愛称は、浅木 SANAI の会に決まりました！

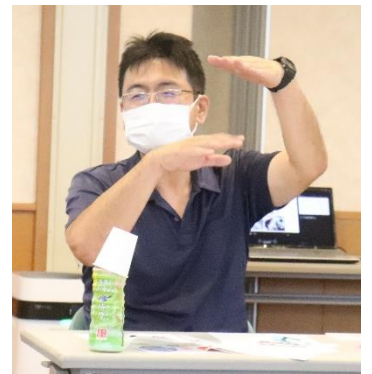


～SANAI に込められた思い～

SAN・・・燦燦、SUN（太陽）  
A I・・・支え合い・話し合い  
敬 愛・地域 愛

太陽のように平等に、燦燦と降り注ぐ愛を感じられるようにと名付けられました！

今回（第4回）から参加してくれたメンバー



(東和苑) 区 長 石本一豊 さん  
(美 蓉) 民生委員 平川賢治 さん  
(木 守) 公民館長 石井佐千生 さん  
(上別府) 老人クラブ 米加田正子 さん  
(上別府) 福祉施設 原 耕二 さん  
(老 良) 一般公募 添田秀代 さん  
(緑ヶ丘) 一般公募 岩男厚美 さん  
(虫生津) 一般公募 古野かよ子 さん

《第4回浅木校区協議体の流れ》

1. これまでの振り返り
2. 浅木校区協議体の愛称を決めよう！
3. 地域の集い場報告～意味づけしてみよう！～
4. 9/30（金）講演会へのご案内

今回は、前回教えていただいた地域の集い場 46 か所（38 個+8 個）のうち、コーディネーターが調査したいくつかの事例をもとに、集い場の持つ力について、再確認を行いました。上の写真は、東和苑区で行われた朝のラジオ体操が持つ効果についてみんなで考えた結果です。「体操＝健康づくり」だけではない色々な効果が見えてきました！

また、集い開催における課題点“財源の確保”、“コロナ予防”、“責任の所在”等について白熱した議論も展開されました。さまざまな壁がありますが、「“やめる”ではなく、予防を徹底して“できることからやる”！」を意識した活動が大切だということを全員で共有することができたと感じます。